

令和4年度「夏のDigi田（デジデン）甲子園」優勝に関する市長コメント

この度、令和4年度「夏のDigi田甲子園」実装部門において酒田市の「飛島スマートアイランドプロジェクト」の取組が優勝という栄誉に輝きましたこと、大変光栄に感じておりますとともに、本市が進めるデジタル変革の大きな弾みとなるものと確信しております。

令和3年3月に策定した「酒田市デジタル変革戦略」では、「今いる場所で自分なりの一步を踏み出す人の背中を押す」ことを使命とし、「小さなことから変えてみる」姿勢を重視しております。また、飛島は人口減少や高齢化に加え、定期船の冬季就航率の低下により本土との物流が滞るなど、日本海の離島ならではの課題を抱える島ではありますが、その一方で、若者が移住し、様々なチャレンジを行っている島でもあります。今回の「飛島スマートアイランドプロジェクト」は、飛島に住む若者が、多くの関係者を巻き込んで、自分たちの島の課題をできることから変えていく取組でありました。その意味で、本プロジェクトは本市のデジタル変革が目指す価値観を体現してくれたものだと捉えております。

このたびの「夏のDigi田甲子園」優勝を契機として、本市の至るところで、多くの市民、事業者の皆様が、課題解決に向けてチャレンジし、デジタル技術の実装による新たな価値創造が行われ、誰もが住み続けたいと思える地域にしていきたいと考えております。

最後に、本プロジェクトの実施に際しご尽力いただきましたとびしま未来協議会、合同会社とびしま、NTT東日本山形支店、NTTデータ、東北公益文科大学の皆様、そして関係されたすべての皆様に感謝申し上げます。

令和4年8月30日

酒田市長 丸山 至